

2006年8月8日



ニュースリリース

「業界初の自動不均一メッシュをサポートしたBeamPROP、FullWAVE、FemSIM ならびにGratingMOD、DiffractMOD、BandSOLVE、MOSTを含む RSoft Passive Component Design Suite Ver.7」

日本アールソフトデザイングループ株式会社(代表取締役社長 尾崎透徹 東京都港区芝1-9-6)は米国RSoft Design Group, Inc.(RSoft社)が開発しました光デバイス設計・シミュレーション・ソフトウェアRSoft Passive Component Design Suite Ver.7の販売を2006年8月8日より開始いたしました。価格は125万円から、初年度販売見込み250本、主に光ファイバ/レーザ・メーカー、光学材料/光部品/光半導体メーカー、デジタル家電/光学機器メーカー、WDM/SONET/SDH装置メーカー、光関連研究機関、大学等に拡販する予定。

最新の複雑なナノ・テクノロジーやシリコン・フォトニクス、フォトニック結晶を初めとする各種光部品や光システムの開発では生産性の向上、開発期間の短縮が不可欠であり、高機能なシミュレーション・ソフトウェアが必須となっています。Passive Component Design Suite Ver.7ではBPM法、FDTD法、RCWA法、平面波展開法、有限要素法、結合モード法などの各種高機能ソルバで、高速かつ正確なシミュレーションならびに最適化が可能です。

RSoft Passive Component Design Suite Ver.7 の主な特徴

- BPM 法では業界初の不均一メッシュ構造をサポートした:BeamPROP
- 自動不均一メッシュをサポートした FDTD 法ソフトウェア:FullWAVE
- 不均一メッシュよりナノ・デバイス、量子井戸デバイス、高屈折率デバイスに適合
- 計算速度を大幅に改善した有限要素法モード・ソルバの FemSIM と RCWA 法の DiffractMOD
- キャビティ・モードと Q ファクタを計算する Q-Finder
- 最適化ツール MOST と統合されたファイバ・グレーティング解析ソフトウェア:GratingMOD
- RSoft Passive Component Design Suite Ver.7はWindows XP、Linux環境で稼動します。
- 記載されている社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

より詳細な情報は

日本アールソフトデザイングループ株式会社

住所:〒105-0014 東京都港区芝 1-9-6 マツラビル 2F

電話:03-5484-6670 FAX:03-5484-2288

URL: <http://www.rsftdesign.co.jp/>

E-mail: akagi@rsftdesign.co.jp

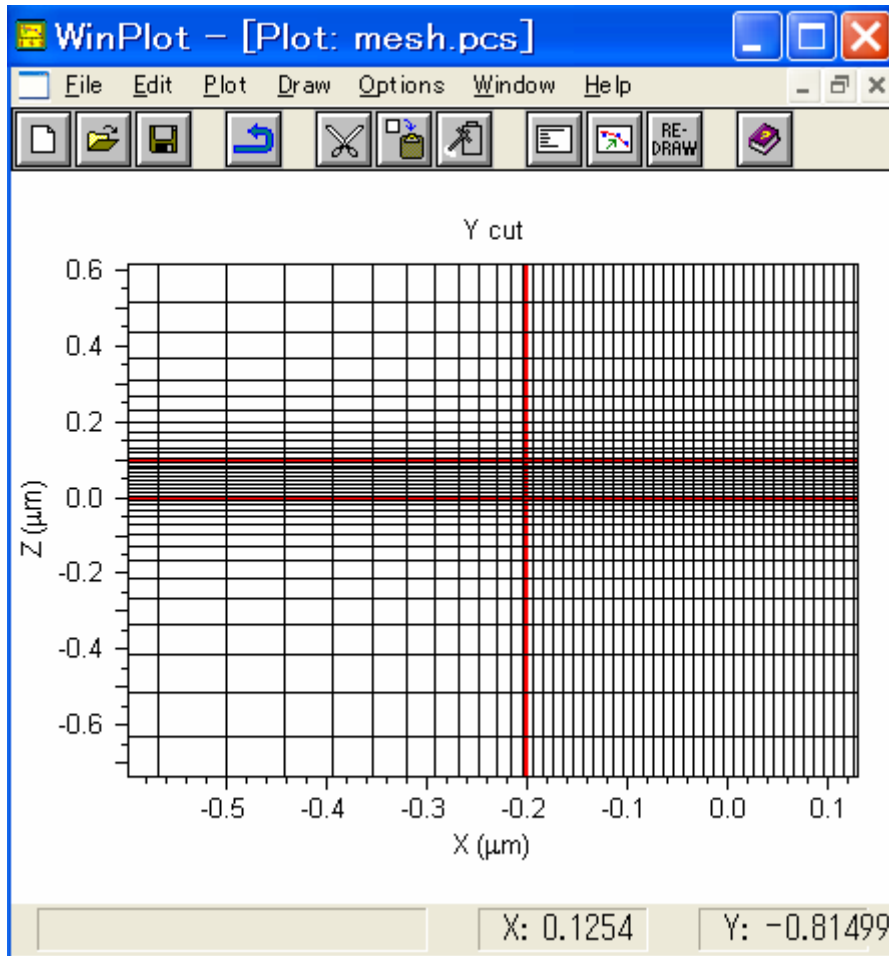


図 FullWAVE による自動不均一メッシュ